

BEEETHHOOVEN

SYMPHONY

NO. 7

ハイドン: 歌劇
「哲学者の魂、または
オルフェオとエウリディーチェ」序曲
HAYDN: "L'anima del filosofo, ossia Orfeo ed Euridice" Overture

モーツァルト: ピアノ協奏曲第19番 へ長調 K. 459
MOZART: Piano Concerto No. 19 in F major, K. 459

ベートーヴェン: 交響曲第7番 へ長調 作品92
BEETHOVEN: Symphony No. 7 in A major, op. 92

ドイツを拠点にウィーン響や
バイエルン放送響と
共演する本格派
ピアノ=河村尚子
Piano= HISAKO KAWAMURA

6年半ぶりに再登場! マドリード王立劇場や
バーゼル響で要職を務める英国の名匠
指揮=アイヴァー・ボルトン
Conductor= IVOR BOLTON

読売日本交響楽団 第691回名曲シリーズ
YNSO Popular Series No. 691

2026年 **4月22日** (水)
Wednesday, 22 April 2026
SY¥8,800 AY¥7,700 BY¥6,600 CY¥5,000

19時開演 サントリーホール
19:00 Suntory Hall

©Marco Borggreve

お申し込み・お問い合わせ
読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時 年中無休) <https://yomikyo.or.jp/>
プレイガイド サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。
開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、キャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

英国の名匠ボルトンが ウィーン古典派音楽で巧みな構成力を発揮

河村尚子は瑞々しいタッチでモーツァルト作品を弾きこなす！



©Nancy Horowitz

アイヴァー・ボルトン (指揮)

IVOR BOLTON, Conductor

2019年読響「第九」演奏会を成功へと導いたイギリスの名匠が待望の再客演。ウィーン国立歌劇場、英国ロイヤル・オペラなどで活躍するほか、ザルツブルク音楽祭などにも出演。ロイヤル・コンサートヘボウ管、ウィーン響、チューリヒ・トーンハレ管など欧州の主要楽団に客演を重ねている。これまでに古楽器アンサンブル、セント・ジェイムズ・パロックを創設するほか、スコットランド室内管首席指揮者、バーゼル響首席指揮者などを歴任し、現在はマドリッド王立劇場音楽監督、ドレスデン祝祭管首席指揮者、ザルツブルク・モーツァルテウム管桂冠指揮者を務める。CDやDVDも数多く、ヘンデルやモンテヴェルディのほかブルックナーの交響曲全集などをリリースし好評を博している。

河村尚子 (ピアノ)

HISAKO KAWAMURA, Piano

ドイツを拠点に国際的に活躍する本格派ピアニスト。ハノーファー国立音楽芸術大学在学中、ミュンヘン国際コンクール第2位入賞。クララ・ハスキル国際コンクール優勝で一躍世界の注目を浴びた。これまでに、国内外でリサイタルを開くほか、テミルカーノフ、ルイージ・ヤノフスキ、ピエロフラウヴェクらの指揮で、ウィーン響、バイエルン放送響、ベルリン放送響、チェコ・フィルなど一流楽団と共演している。文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞、ミュージック・ベンクラブ音楽賞、サントリー音楽賞ほか受賞多数。2019年には映画「蜜蜂と遠雷」でピアノ演奏を担当し話題となった。現在、ドイツのフォルクヴァンク芸術大学教授。読響とは09年の初登場以来、共演を重ねている。

春爛漫の陽気が続く頃、イギリスの名匠アイヴァー・ボルトンが得意のウィーン古典派プログラムを披露します。ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団首席指揮者やバーゼル交響楽団首席指揮者を歴任してきたボルトンは、ウィーン古典派とバロック音楽の分野で際立った実績を残してきた名指揮者。読響には2019年のベートーヴェン「第九」以来の登場となります。今回はハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンの三巨匠による王道のプログラムが組まれました。

幕開けを飾るのは、ハイドンの歌劇「哲学者の魂、またはオルフェオとエウリディーチェ」序曲。劇的な緊張感と生命力あふれる快活な楽想の融合にオペラ作曲家としてのハイドンの魅力が発揮されています。ボルトンが引き締まったサウンドを読響から引き出してくれることでしょう。

モーツァルトのピアノ協奏曲第19番では、国際的に活躍する名手、河村尚子がソリストを務めます。同曲はモーツァルトがウィーンで絶頂期を迎えていた頃の傑作。晴れやかな第1楽章、陰影に富んだ第2楽章、フーガの手法を用いた第3楽章と、それぞれの楽章にモーツァルトの創意が凝らされています。かねてよりモーツァルトに力を入れる河村尚子が、ボルトンとの間でどのような音楽的対話をくりひろげるのか、大いに注目されます。

メインプログラムはベートーヴェンの交響曲第7番。全楽章にわたって特徴的なリズム動機が活用されることから、かつてワーグナーが「舞踏の神化」と称えたことで知られる名曲です。第2楽章のアレグレットはベートーヴェンが書いたもっとも美しい音楽のひとつと言えるかもしれません。フィナーレでは熱狂的なリズムの饗宴が聴く者を興奮の渦に巻き込むことでしょう。ボルトンの明快で真摯な音楽作りと読響の緊密なアンサンブルが、作品の真髄に迫ります。

飯尾洋一 (音楽ライター)



©Marco Borggreve

読響日本交響楽団 第691回名曲シリーズ

2026年4月22日(水) 19時開演

サントリーホール 東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥8,800 / A ¥7,700 / B ¥6,600 / C ¥5,000

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩7分

■学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。
■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、キャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017